

ごあいさつ
「原点を見つめ 世界へ飛翔 ～赤十字の果たすべき使命～」



第50回日本赤十字社医学会総会
会長 一三三 倫郎
(熊本赤十字病院 院長)

第50回日本赤十字社医学会総会は、九州ブロック、熊本赤十字病院が担当させていただき平成26年10月16日(木)、17日(金)に熊本市で開催いたします。

昭和39年に第1回大会が東京で開催されて以来、今回は50回目の記念大会ということになりますが、赤十字活動がどのようにあるべきかを皆で考え、知識と技術を高め、さらに相互の交流により各施設間の絆を深めるために開催されるのが、本総会の目的であると考えております。

この記念大会を日本赤十字社の前身である博愛社発祥の地「熊本市」で開催できますことは大変に感慨深く、西南戦争の際に、大変な苦勞の末に博愛社を創設した佐野常民氏の志の高さに思いを馳せながら、日本赤十字社発祥の地にふさわしい医学会が開催できればと思います。

今回の医学会では赤十字活動の「原点」を振り返るとともに、これからの日本や国際社会が直面する問題について、赤十字が果たすべき社会的役割とは何かを皆さんと考え、未来に発信したいと思い「原点を見つめ 世界へ飛翔 ～赤十字の果たすべき使命～」をメインテーマに掲げ、本医学会の構成を練りました。

そして、第50回特別記念講演として、本医学会理事長である富田博樹事業局長に「日本赤十字社医学会の50年を紐解く」と題してご講演いただけることとなりました。特別講演は、東日本大震災で復興構想会議議長を務められた熊本県立大学理事長の五百旗頭 真先生に「大震災の時代に生きる」というテーマで、またジャーナリストの鳥越俊太郎氏に「地域医療とへき地医療」についてご講演いただきます。さらに今回は、要望演題のテーマを赤十字医療施設がそれぞれ直面する問題を中心に明確化する事により、出来るだけ実践的な討論ができるような形式にいたしましたし、研修医の皆さんが積極的に参加しやすいような新たな試みも盛り込んでおります。

いずれの試みも日赤医学会が、この50回の記念大会を契機として新しい形で発展していくための「魁」になればと考えての企画です。また、会員の皆様から応募いただきました演題登録数は960題

と過去最高になり、大変ありがたく思っております。

参加される皆様方には沢山の赤十字の仲間と情報交換を行い、今後の赤十字活動に活かしていただきたいと思いますし、この記念大会の開催が世界的視野で物事をとらえ時代の求める変化に柔軟に対応できる赤十字人の育成のための討議の場になれば大変うれしく思います。

熊本は「水の都、森の都」と呼ばれる、とても暮らしやすい街です。また、天草の美しい海岸線、雄大な阿蘇の山々、数多くの温泉郷、日本三名城のひとつである熊本城など観光名所も多く風光明媚なところでもあります。海の幸、山の幸、美味しい地酒にも恵まれています。

是非この機会に足をお運びいただいて、熊本の良さを楽しんでいただければ幸いです。

たくさんの方々に日赤発祥の地「熊本」の活力を、見て、感じていただけますよう、当院職員一同心よりお待ちしております。